

2010年6月30日

SAAJ NEWS RELEASE

公開草案「金融商品：償却原価及び減損」について意見書を提出

社団法人日本証券アナリスト協会（会長：稲野和利 野村アセットマネジメント会長）は、2009年12月に公表された公開草案「金融商品：償却原価及び減損」についての意見書を作成し、6月30日（水）に国際会計基準審議会（以下IASB）へ提出しました。

【意見書のポイント】

- ✓ 公開草案で提案されている予想損失モデルに対して、我々の意見は分かれた。本来は金融監督当局が金融システム安定化のために講じるべき措置の一部を、会計基準が担おうとすることに無理があると感じているからである。また、予想前提に恣意性が入り、企業間の横比較が難しくなることを、予想損失モデルの最大の問題点と考えている。
- ✓ 公開草案で提案されている表示や開示の充実を、我々は高く評価している。5月26日に開催した金融商品についての勉強会に出席し、その後のアンケートに回答した検定会員の約80%が、金融機関の企業分析における有用性を認めている。予想前提に恣意性が入り、企業間の横比較が難しくなるという根強い危惧の払拭には、開示内容のさらなる充実と共に、財務諸表利用者に解り易い形式での開示が必要不可欠であろう。
- ✓ 一般事業会社の様な非金融機関の短期売掛金などにも同じ基準の開示を要求するのは、複雑な仕組みを財務諸表作成者一般に課すことになるため、短期売掛金などには簡便なディスクロージャーを適用できる旨を明記する様にIASBへ提案する。
- ✓ 5月26日に米国財務会計基準審議会（以下FASB）は、「発生損失モデル」をベースに修正を加えた公開草案を公表したが、償却原価法を適用するIASBの公開草案と内容がまったく異なる点は非常に重大な問題である。2011年6月のMOUプロジェクト完了を目指して、IASBとFASBは協力して取り組んでいるはずであり、金融商品の減損においても、両委員会の足並みを早急に揃えていただきたい。

【添付資料】

資料1. *re: Comments on Exposure Draft*

“Financial Instruments: Amortized Cost and Impairment”

資料2. 公開草案「金融商品：償却原価及び減損」についての意見書

本件に関するお問い合わせは下記まで

社団法人日本証券アナリスト協会

電話：03-3666-1577

担当：教育第一企画部長 かいます 貝増 眞